

## 松本久雄先生の略歴と主要業績

### (経 歴)

- |           |  |
|-----------|--|
| 1931年 1 月 | 長野県に生まれる                                       |
| 1949年 4 月 | 中央大学第二法学部入学，栄養失調のため 9 月に退学                     |
| 1950年 4 月 | 新潟大学人文学部経済学科入学，54年 3 月卒業                       |
| 1957年 4 月 | 大阪市立大学大学院経済学研究科修士課程進学，60年 3 月修了                |
| 1960年 4 月 | 同大学院同研究科博士課程進学，63年 3 月満期退学                     |
| 1960年11月  | 大阪証券経済研究所入所（景気分析，後に海外経済担当）                     |
| 1969年10月  | 財団法人日本証券経済研究所大阪研究所主任研究員（海外経済，国際金融を担当）70年 3 月退職 |
| 1970年 4 月 | 桃山学院大学経済学部助教授（金融論，国際金融論担当）                     |
| 1976年 4 月 | 桃山学院大学経済学部教授（金融論担当）                            |
| 1978年 4 月 | 桃山学院大学経済学部長（80年 3 月まで）                         |
| 1981年 8 月 | 在外研究員（連合王国，82年 1 月まで）                          |
| 1983年 3 月 | 桃山学院大学退職                                       |
| 1983年 4 月 | 金沢大学経済学部教授（金融経済論，国際金融論担当）                      |
| 1984年 4 月 | 金沢大学大学院経済学研究科修士課程担当（金融経済論特論）                   |
| 1996年 3 月 | 金沢大学定年退官                                       |
| 1996年 4 月 | 新潟経営大学教授就任（予定）                                 |

### (研究業績)

#### ○著 書（単著のみ）

- |           |                            |
|-----------|----------------------------|
| 1990年 3 月 | 『金問題と貨幣・信用論』金沢大学経済学部研究叢書 3 |
| 1995年 3 月 | 『国際価値論と変動為替相場』新泉社          |

○学術論文

- 1960年 4月 「再生産論と過少消費説」大阪市大大学院『市大論集』創刊号
- 1961年 5月 「戦後日本経済の資本蓄積に関する一分析」『証券経済月報』第22号
- 1962年 5, 9月 「金価格引上げの可能性について」(上)(下), 同上誌, 第34号, 第38号
- 1964年 3月 「ユーロ・ダラーの諸問題」同上誌, 第56号
- 1964年 8月 「米国の物価騰貴と金問題」『経済学雑誌』第51巻第2号
- 1965年 7月 「管理通貨制度の本質」『世界経済評論』1965年7月号
- 1965年 8月 「国際資本移動と国際流動性問題」『証券経済』第73号
- 1966年 2月 「英国における最近のインフレ論争について」『証券経済』第78号
- 1966年 4月 「ポンドの回復と残された問題」『世界経済評論』1966年4月号
- 1966年 7月 「国際通貨改革案の問題点」『証券経済』第83号
- 1967年 3月 「フランスの金攻勢とドルのゆくえ」同上誌, 第91号
- 1967年12月 「資本の前貸と貨幣の前貸との区別について」同上誌, 第98号
- 1968年 2月 「オーバー・ローンと株式市場」同上誌, 第102号
- 1968年12月 「二重金価格制の意義とゆくえ」同上誌, 第106号
- 1969年 1月 「金の価格と物価水準」『経済学雑誌』第60巻第1号
- 1969年 9月 「英国の通貨供給問題と新貨幣数量説」『証券経済』第108号
- 1971年 9月 「第一次大戦以前の国際投資」同上誌, 第111号
- 1973年 3月 「観念的度量単位説と貨幣数量説」桃山学院大学『経済経営論集』第14巻第4号
- 1974年 3月 「貨幣金の価値規定の特殊性」同上誌, 第15巻第4号
- 1974年11月 「貨幣価値の国民的相違について」同上誌, 第16巻第2・3合併号
- 1976年 3月 「リカードウの貨幣論と金の価格」同上誌, 第17巻第4号
- 1979年 1月 「地金報告とトーマス・トゥック」同上誌, 第20巻第3号
- 1980年 9月 「通貨管理と信用調節——通貨論争の撃争点——」同上誌, 第22巻第2号

- 1983年3月 「価値章標流通下の価格の度量基準——17世紀末イギリスの磨損鑄貨流通に関連して——」同上誌, 第24巻第4号
- 1986年12月 「『信用の利子生み資本化』の論理について——岡橋保著『現代信用論批判』に関連して——」『証券経済』第158号
- 1987年9月 「『貨幣資本と現実資本』の帰結——『資本論』第3部第30章の問題提起に関連して——」同上誌, 第161号
- 1988年3月 「信用創造と信用媒介——信用制度の二つの面との関連で——」同上誌, 第163号
- 1989年2月 「『ドル本位制』の意義とゆくえ」柳田侃編著『世界経済』ミネルヴァ書房
- 1990年11月 「ブレイクの名目為替規定の修正とリカードウ」『金沢大学経済学部論集』, 第11巻第1号
- 1991年3月 「国際的価値と国民的価値」同上誌, 第11巻第2号
- 1992年3月 「外国為替相場の実質的変動と名目的変動」同上誌, 第12巻第2号
- 1992年11月 「リカードウの為替理論と購買力評価説」同上誌, 第13巻第1号
- 1993年3月 「国際交換における価値移転について」同上誌, 第13巻第2号
- 1993年3月 「金廃貨論についての一試論」『甲南経済学論集』第23巻第4号
- 1994年3月 「銀行学派による通貨と資本の区別とマルクス」『金沢大学経済学部論集』第14巻第2号
- 1994年12月 「トゥックとフラートンの差異と共通点——『資本論』第3巻第5篇の後半部に関連して——」同上誌, 第15巻第1号
- 1995年5月 「MEGA版で読む『資本論』——第3巻第5篇第25～35章の範囲で——」金沢大学経済学部ディスカッションペーパーシリーズ
- 1996年3月 「信用制度下の利子生み資本論の展開」『金沢大学経済学部論集』第16巻第2号

○その他「辞典項目」

1971年 9月 「第一次大戦以前の国際投資」『証券辞典』東洋経済新報社

○その他「学会報告」

1990年 6月 「ブレイクとリカードウの減価概念と為替理論」金融学会1990年春季大会報告（中央大学）

1991年10月 「基軸通貨体制と金」経済理論学会第39回大会報告（金沢大学）

○その他「時事評論」

1968年 7月 「金価格引き上げ論をただす」『週刊東洋経済』7月20日増大号

1973年 9月 「金価格と国際通貨問題」『月刊経済誌 NDO』, 第3巻第5号

1974年 1月 「IMF ナイロビ総会と国際通貨制度のゆくえ」同上誌, 第4巻第1号

1974年 4月 「浮上した金問題と最近の国際通貨情勢」同上誌, 第4巻第4号

1974年 8月 「20カ国委員会後の国際通貨情勢——フロート制の定着か、金価格の引き上げか——」同上誌, 第4巻第8号

1975年 2月 「世界経済の現局面——国際通貨制度崩壊下に進行する世界不況の意味とゆくえ——」同上誌, 第5巻第2号

○書 評

1972年 6月 スタドニチェンコ著, 山中豊国訳『国際通貨危機論』（ミネルヴァ書房, 1971年12月刊）, 『世界経済評論』1972年6月号

1984年 9月 岩野茂道著『金・ドル・ユーロダラー』（文真堂, 1984年5月刊）, 『証券経済』第149号

1993年 6月 ウィリアム・ブレイク著, 酒井一夫監訳『外国為替相場論』（駿河台出版社, 1992年3月刊）, 『金融財政』（時事通信）6月3日号